

G20 観光大臣会合推進会議 議事録

2018年6月28日(木) 16:00～16:20
北海道庁赤れんが庁舎 2階 2号会議室

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 本日は、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。ただいまより、「G20 観光大臣会合推進会議設立総会」を開催いたします。
- まず、開催に当たり、知事からご挨拶申し上げます。

(北海道知事：高橋はるみ)

- 皆様お忙しい中、本日はこうしてお集まりいただき本当にありがとうございます。G20 観光大臣会合推進会議設立総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。
- 来年 2019 年、G20 首脳会合の日本開催にあわせまして、様々な関係閣僚会合が日本各地で行われることが計画される中、北海道の倶知安町におきまして観光大臣会合の開催が決定いたしましたところでございます。これは、本日おられます倶知安町長、また、後志管内の皆様方、北海道観光振興機構の壇八会長はじめ、皆様方の総力を挙げて誘致活動をやらせていただいた結果と、そのように考えておきまして、関係の皆様方に、心から感謝と御礼を申し上げたいと思っております。
- 道内で開催されます閣僚会議として、私の記憶にございますのは、まず 2008 年の G8 サミットでございます。その時には 22 カ国の首脳の方々に集まっていたわけでありませうけれども、そののち 2010 年には、APEC の貿易担当大臣会合が札幌で行われました。それ以来の大規模な国際会議と認識をします。
- この開催に万全を期すための受入体制の整備はもとより、北海道の魅力の発信やおもてなしをオール北海道で行うため、今回、この推進会議を設置することとさせていただいたところでございます。
- 主要国の「観光」責任者が一堂に会する本会合は、本道の食や観光を世界に P R する、またとない機会でございます。道といたしましては、世界が憧れる観光地・北海道の実現に向けて実り多いものとしたい、そのように考えているところでございます。
- 今年は北海道命名 150 年の節目でございます。この度の会合を、先人から受け継いできたふるさと北海道を次の世代に引き継いでいくための新たなステップとし、開催地の倶知安町、後志管内の皆様をはじめ、本道におけるインバウンドの加速化など、地域創生の実現につなげてまいりたい、このように考えているところでございます。
- 皆様方におかれましては、本推進会議の設立、運営についてのご理解と、観光大臣会合の開催に向けた取組へのご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- それでは、本日の出席者でございますが、大変恐縮でございますけれども、時間の関係からお一人お一人のご紹介は省略させていただきます。お手元の出席者名簿にて代えさせていただきますと存じます。なお、本日は、推進会議の構成員と顧問の皆様のほか、東京から、観光庁の町田参事官と、総務省国際戦略局の中越企画官にお越しいただいております。後ほど町田参事官には議事の中でもご説明いただく予定です。
- 申し遅れましたが、私は本日進行を務めさせていただきます道の総合政策部長の小野塚でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきますと思います。最初に、議題の 1 つ目「G20 観光大臣会合の概要等」につきまして、事務局からご説明申し上げます。

(北海道総合政策部国際局長：中島俊明)

- 国際局長の中島と申します。よろしくお願いたします。私から、G20 観光大臣会合の概要等につきまして、資料 1 に基づきご説明申し上げます。
- まず、G20 サミットについてでございますが、主要先進国の G7 をはじめ、中国やインド、ロシア等、計 20 カ国の首脳が参加し、毎年開催される国際会議でございます。
- 次に 2 番、2019 年の G20 サミットについてでございますが、日本が議長国となり開催されることとなっておりまして、6 月 28～29 日に首脳会合が大阪で開催されることが決定しております。また、関係閣僚会合といまして、資料の中程にございまして、各地で関係閣僚会合が開催されることが決定しておりまして、その一つ、観光大臣会合が倶知安町で開催されることとなっております。
- 次に 3 番目、これまでの経緯についてでございますけれども、知事の挨拶にもございましたが、昨年度より道、倶知安町、北海道観光振興機構で国に対し要望活動を重ねてきた中で、倶知安町での開催が決定されたという経緯がございます。
- 開催決定後、道庁内での連絡体制を構築するとともに、先の 6 月 21 日には、倶知安町内に官民連携組織でございます町民会議が設立されております。
- 次に、資料 1 の 2 ページ目をご覧ください。G20 観光大臣会合でございますけれども、G20 サミットにあわせて開かれておりまして、資料にございまして、第 1 回から第 8 回まで、世界各地で開催されてきております。
- 次に 5 番目の、G20 観光大臣会合の受入体制の構築についてでございますけれども、官民一体となり、オール北海道で、会合への支援協力と会合の機会を捉えた北海道 P R を行うことを目的として、本日お集まりいただいた皆様によりまして、G20 観光大臣会合推進会議を設立したいと考えております。
- この推進会議においては、会合開催に対する国への支援や、会合に関する広報・啓発活動のほか、会合に併せて行うおもてなしですとか地元 P R などの関連事業の企画につきまして、検討を進めていきたいと考えております。以上でございます。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- 事務局から G20 観光大臣会合の概要について説明申し上げましたが、ただいまの説明内容につきまして、ご質問などございませんでしょうか。

ー特に発言なしー

- よろしいでしょうか。そういたしましたら、次に移りたいと思います。議題 2「本推進会議の規約」につきまして、事務局からご説明を申し上げます。

(北海道総合政策部国際局長：中島俊明)

- それでは、推進会議の規約につきましてご説明させていただきます。資料 2 をご覧ください。
- まず第 1 条ということで、推進会議の名称、第 2 条におきましては、先ほどご説明いたしました推進会議の目的について規定しております。
- 次に、第 3 条の活動内容についてということで、「開催に対する支援、協力及び受入れ」、「広報・啓発」、「関連事業の企画」、「連絡調整」、「その他目的の達成に必要なこと」を列記させていただいております。
- 次に、第 4 条の組織についてでございますけれども、後ろにございます別表のとりのメンバーで、道、倶知安町をはじめとする 17 団体の皆様に構成員として、それから議会関係ですとか国の機関の 7 団体から顧問として参画いただきたいと考えております。
- 次に、第 5 条についてでございますけれども、役員についてでございますが、会長は北海道知事が務めさせていただき、副会長は倶知安町長にお願いしたいと考えております。
- それから、少し飛ばしまして 2 ページ目をご覧くださいのですけれども、2 ページ目の第 10 条でござい

すけれども、推進会議を円滑に運営していくために幹事会ということで設置したいと考えております。

- それから第13条でございますけれども、事務局については北海道庁の総合政策部で担おうというふうに考えております。以上でございます。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ただ今説明申し上げました規約の案につきまして、皆様からご意見等はございますでしょうか。
－特に発言なし－
- 特になかったようですので、本日、皆様のご承認をいただきまして、規約案のとおり推進会議を設立したいというふうに考えておりますが、原案通りご承認いただくということでよろしいでしょうか。
－「異議なし」の声－
- ありがとうございます。それでは、規約案のとおり、本日付けで「G20 観光大臣会合推進会議」を設立させていただきます。本会合の成功に向け、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。
- 次に、G20 観光大臣会合につきまして、観光庁から来ていただいております町田参事官よりご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(観光庁参事官：町田倫代)

- いまご紹介いただきました観光庁の参事官をしております町田と申します。よろしくお願いいたします。G20 の担当をさせていただいております。本日は、設立総会にお招きいただきありがとうございます。また、本日この場でのG20 観光大臣会合推進会議の設立を心からお祝い申し上げます。
- 本年4月に、G20 観光大臣会合の北海道倶知安町での開催が決定して以来、私ども観光庁といたしましては、倶知安町様、北海道庁様といった行政側の皆様と開催に向けた話し合いを行ってきております。そして先日、倶知安町では、G20 観光大臣会合推進町民会議が設置され、本日、G20 観光大臣会合推進会議が発足したということで、開催地における官民が連携した取組を行う体制が発足したということで、オール北海道での受入体制によるご支援・ご協力がいただけるということで、私どもからも大変感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。
- G20 観光大臣会合についてですけれども、資料3ということでお配りしておりまして、本年アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されております。本年の会合では日本から梁国土交通省大臣政務官、観光庁、それから倶知安町からもご参加をいただきまして、我が国における観光の位置づけ、訪日インバウンドの最新状況、観光政策の具体的な取組等につきまして発言を行っております。そして、倶知安町制作のプロモーションビデオを流しまして、今回は、北海道の倶知安町で開催しますということを発表いたしまして、すべての出席者から歓迎をされたというところでございます。
- このG20 観光大臣会合の開催の機会というものを、北海道、それから倶知安町の多様な魅力を、G20 各国に積極的に、そして効果的に発信し、PRする場といたしまして、最大限ご活用いただければ有り難いと考えております。
- 最後に、この場にお集まりいただいた皆様に心から感謝を申し上げたいと思いますし、本会合の成功に向けて、お集まりの皆様と緊密に連携し、一丸となって取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございます。ただ今のご説明に関しまして、皆様から何かご質問等はございますでしょうか。
－特に発言なし－
- 以上で、本日予定しておりました議事は終了しましたが、この機会に何かご発言などございましたらよろしくお願いいたしますと存じます。

(北海道観光振興機構会長：堰八義博)

- 北海道観光振興機構の会長を仰せつかっている堰八と申します。まず今年に入ってから、私も知事と西江町長と一緒に、関係省庁等にお供させていただいておまして、本当に倶知安町に決まって、心から感謝しておるところでございますけれども、これもひとえに知事と町長、関係の皆様の熱意の賜というように思っております。
- 皆様ご承知のとおり、北海道観光、特にインバウンドの伸びが好調で、16年度には230万人を記録しました。17年度の数値、これはまだ確定値は出ていないのですけれども、第3四半期までの数値も22.6%の増加となっており、おそらく2017年度は280万人に到達しているだろうというふうに思っております。
- また、日本全体のインバウンドによる観光消費は、2016年で3兆7千億円を超えます。政府は8兆円を目指しているところでございますけれども、電子部品あるいは自動車部品の輸出金額を超えたと言われており、また、北海道におきましても、インバウンドによる観光消費が2015年で3,700億円を超えます。本道の輸出額が4千億円ですから、ほぼそれに匹敵する、そういう状況になっております。北海道経済が比較的堅調に推移している一因として、間違いなく観光消費が貢献しているというふうに認識しております。
- 当機構といたしましても、知事が掲げたインバウンド目標、2020年度までに500万人の達成に向け、誘客に取り組んでいるところでありますが、この度のG20関係閣僚会合は、北海道洞爺湖サミット以来の大型国際会議の北海道開催ということで、各方面に多大な影響力を持つオピニオン・リーダーが集まりますし、また、同行するマスコミの取材を通して、北海道の知名度向上、これが外国人観光客の誘客に大きな弾みが期待できるところでございます。私ども機構といたしましても、この会合に最大限、ご協力させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- どうもありがとうございました。他に皆様の方からご発言ございますでしょうか。
－特に発言なし－
- 最後に、本推進会議の副会長でございます西江倶知安町長から、ご挨拶いただきたきたいと思います。町長、よろしくお願いいたします。

(倶知安町長：西江栄二)

- 倶知安町長の西江でございます。閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。
- これまで、倶知安町の開催誘致にあたりましては、高橋知事や堰八北海道観光振興機構会長をはじめ、関係する国会議員、道議会議員の皆様など、たくさんの方々にご協力いただきまして、開催決定に至ったと思っております。誠にありがとうございました。
- さて、当町では、去る6月21日に、町内の官民による連携組織である町民会議を設置したところであります。地元といたしましても、この町民会議を中心に、オール倶知安体制で気運醸成やおもてなし事業を推進することにより、地域の魅力発信はもちろん、当推進会議と連携することで、北海道全体の発展につながるよう、皆様と協力しながら全力で取り組んでいきたいと思っております。
- 今後とも、観光庁をはじめとする関係省庁の皆様、北海道をはじめとする道内関係機関の皆様におかれましては、本町におけるG20観光大臣会合の成功のため、引き続き、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

(北海道総合政策部長：小野塚修一)

- ありがとうございました。以上をもちまして、「G20観光大臣会合推進会議設立総会」を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました。